

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしゃだんほうじんじゃぼんしんふおにつくういんず 一般社団法人ジャパン・シンフォニック・ウインズ		団体ウェブサイトURL https://sienawind.com/
代表者職・氏名	代表理事 東 佳樹		
制作団体所在地	〒 160-0022	最寄り駅(バス停)	新宿御苑前
	東京都新宿区新宿1-24-7ルネ御苑プラザ420		
電話番号	03-3357-4870		
ふりがな 公演団体名	しえなういんどおーけすとら シエナ・ウインド・オーケストラ		団体ウェブサイトURL https://sienawind.com/
代表者職・氏名	事務局長 高澤芳郎		
公演団体所在地	〒 160-0022	最寄り駅(バス停)	新宿御苑前
	東京都新宿区新宿1-24-7ルネ御苑プラザ420		
制作団体 設立年月	2004年11月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:東佳樹 理事:黒岩真美、貝沼拓実 監事:熊代祐子	代表理事1名、理事2名、楽団員31名、事務局員4名。楽団員は実技オーディションにより審査し、合格者は規定の試用期間を経て入団を決定する。	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	高澤芳郎
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	永井朋恵

<p>制作団体沿革</p>	<p>平成2年に、オーディションを経て集まった優秀な若手音楽家たちによってシエナ・ウインド・オーケストラを結成。平成16年に有限責任中間法人ジャパン・シンフォニック・ウインズとして法人登記。平成21年に公益法人制度改革により会社法人格を一般社団法人に変更。 平成22年文京区および公益財団法人文京アカデミー、平成23年学校法人尚美学園、平成28年国立大学法人上越教育大学および上越文化会館、平成29年学校法人同朋学園名古屋音楽大学、平成30年静岡県富士市および公益財団法人富士市文化振興財団とそれぞれ事業協定を締結、現在、文京シビックホールをフランチャイズとしシエナ・ウインド・オーケストラを運営。各協定団体と連携し、地域に密着した活動やエデュケーショナルな取り組みを展開している。</p>				
<p>学校等における公演実績</p>	<p>【令和3年度】 国分寺高等学校、狭山ヶ丘高等学校、横浜英和中学・高等学校、文京区立本郷台中学校、北区立梅木小学校、文京区立茗台中学校にて実施 【令和4年度】 足利市立小学校(22校)、足利市立中学校(10校)、文京区立第三中学校、文京区立音羽中学校、台東区立黒門小学校にて実施</p>				
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>平成19年度 北海道遠軽市内音楽鑑賞教室にて普通学級と合同で実施 平成26年度 大阪府立豊中支援学校にて音楽鑑賞教室を実施 令和4年度 栃木県立足利中央特別支援学校(足利市立の小中学校と併せて実施)</p>				
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>			
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://drive.google.com/drive/folders/1PcSdmmt1CMZX7L220KIQnhAeomqbSp?</p>			
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ】

対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	オーケストラ探検隊 ～音楽ってなんだ???				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>○【オープニング】バーンスタイン(グランドマン編曲):キャンディード序曲 ○サン=サーンス(抜間美帆編曲):組曲「動物の謝肉祭」より “序奏と獅子王の行進”～“めんどりとおんどり”～“ぞう”～“カンガルー”～“水族館”～“化石”～“終曲” ○サン=サーンス(佐藤泰将編曲):交響詩「死の舞踏」 ○スパーク:オリエント急行 —休憩予定位置— ○ハチャトリアン(稲垣卓三編曲):バレエ音楽「ガイース」より“剣の舞” ○【指揮者体験】ブラームス(三澤慶編曲):ハンガリー舞曲第5番 ○【共演コーナー】ブラード(三浦秀秋編曲):マンボのビート ○サン=サーンス(大橋晃一編曲):歌劇「サムソンとデリラ」より“バッカナール” ○【アンコール】以下2曲から選べます スーザ:星条旗よ永遠なれ もしくは 和泉宏隆(真島俊夫編曲):宝島</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>				
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当なし	該当コンテンツ名		
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況		
演目概要	別添あり				
演目選択理由	別添あり				
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<p>本公演では指揮者体験コーナーと共演コーナーを設けています。 指揮者体験ではブラームスのハンガリー舞曲第5番を教材として、2名から3名の児童・生徒に体験してもらいます。 共演はボディパーカッションを用い、ビート感が強いラテン音楽からP.ブラード作曲「マンボのビート」を取り上げます。 打楽器奏者のリードにより、ラテン音楽の基本リズム「ツー・スリー」の手拍子を基本にしたパフォーマンスを曲の途中で左右2グループに分かれて共演します。</p>				
出演者	<p>指揮:井村誠貴もしくは福本信太郎 司会:山下まみ、もしくは戸塚理絵 吹奏楽:シエナ・ウインド・オーケストラ(以下メンバー表) Picc:西田紀子、Fl:窪田恵美、重見佳奈 Ob:金子佳代、宮川真人 E♭Cl:木内倫子 B♭Cl:佐藤拓馬、飯島泉、黒岩真美、近藤薫、山手寿子、中村めぐみ、佐々木理恵、AltCl:原山佐保子、BassCl:京谷麻里子 Fg:鹿野智子、高林美樹 Sax:柴村正吾、江川良子、貝沼拓実、大津立史 Hr:林育宏、山下裕也、小田原瑞輝、浅井春香 Tp:砂川隆丈、熊代祐子、佐藤友紀、上田仁、久良木文 Tb:郡恭一郎、長谷川貴大、山口隼士 Eup:庄司恵子、齋藤充 Tuba:山岸明彦、望月寛隆 Per:荻原松美、村居勲、東佳樹、服部恵、関聡 Cb:齋藤ひろ Hp:井上麗</p>				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 46 名	運搬	積載量: 4 t		
	スタッフ: 10 名		車長: 8.75 m		
	合計: 56 名		台数: 2 台		

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8:50	9:00-11:00		13:30-15:00	10~15	15:00-16:30	17時00分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	16日	0日	0日	5日	16日	
	11月	12月	1月	計	51日	
	0日	0日	14日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	指揮者体験3名、ボディパーカッション全員
		鑑賞人数目安	1~収容可能人数まで

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)



※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。

【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	1～400名程度まで
<p style="text-align: center;">ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>木管楽器奏者1名、金管楽器奏者1名、打楽器奏者1名、ピアニスト1名、司会者1名、スタッフ1名の計6名</p> <p>①楽団紹介 どこから来たか、どんな活動をしているかを紹介</p> <p>②メンバー紹介 一人ずつ役割を紹介、特にスタッフが何をしているかなどわかりやすく説明</p> <p>③レクチャー(木管楽器) 楽器は未定だが、木管楽器の特徴や音の出る仕組みを解説</p> <p>④実演鑑賞(木管楽器) ピアノ伴奏による実演</p> <p>⑤レクチャー(金管楽器) 楽器は未定だが、金管楽器の特徴や音の出る仕組みを解説</p> <p>⑥実演鑑賞(金管楽器) ピアノ伴奏による実演</p> <p>⑦レクチャー(打楽器) 小物打楽器を用い、打楽器の音当てクイズを軸にした説明</p> <p>⑧実演鑑賞(打楽器) 打楽器の紹介と実演</p> <p>⑨レクチャー(音楽と表現について) 本公演で演奏する曲をPCから出力しながら、作曲家が表現しようとした描写音楽について、クイズを交えながらレクチャー</p> <p>⑩実演(木管楽器) ソロ楽器による描写音楽を実演</p> <p>⑪実演(金管楽器) ソロ楽器による描写音楽を実演</p> <p>⑫指揮者の役割と指揮の仕方 拍子の説明と指揮を全員で練習</p> <p>⑬打楽器奏者による共演の指導 本公演で共演する「マンボのビート」を用い、ボディパーカッションのレクチャーと練習</p>		
<p style="text-align: center;">ワークショップの ねらい</p>	<p>木管楽器、金管楽器、打楽器の音色や楽器の仕組みなどを実演を交えて学ぶことで、本公演のオーケストラによる演奏をより深く理解し、演奏を楽しむことにつながる。</p> <p>また、楽曲の成り立ちや、作曲家の意図などを低学年にもわかりやすく説明することにより、さらに音楽への興味と楽しみ方を体現してもらいたい。</p> <p>共演を通して、参加することの喜びや、自分も楽器をやりたいくなる興味や好奇心が芽生えれば、将来の音楽ファン拡充につながり、生涯学習の礎になればと考える。</p>		
<p style="text-align: center;">その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>各学校が所有するピアノを借用したい。これに伴い、可能であれば事前に調律をしていただけると、演奏のクオリティが上がり、よりよいワークショップの実施につながる。</p>		

リンク先	No.2	【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ】
演目概要	<p>本公演は「音楽ってなんだ??」という禅問答のような副題をあえて冠し、オーケストラが実演していくことを探検隊に見立て、子どもたちに音楽鑑賞の楽しさを伝えていくことを目的としている。</p> <p>オーケストラを初めて聴く子どもたちに対して、私たちはどのようなアプローチで臨むかをあらためて検討した。</p> <p>特に吹奏楽においてはその生演奏に接した際、大音量の印象だけが強く残るケースが、これまでの実施校から提供された感想文などに多く見受けられた。子どもたちの自由な発想において鑑賞することも重要だが、本企画では音楽鑑賞を楽しむ第一歩として、あえて鑑賞前に作曲家の意図や背景などを解説しイメージを補足しながら提案していくことも、将来的にオーケストラファンの拡大につながる一つの方法と考えた。</p> <p>その結果、作曲者の意図が直感的に伝わりやすく、かつオーケストラの演奏をより楽しみやすい楽曲をピックアップした。低学年でも直感的にイメージしやすい動物や機関車など、身近なものを描写した楽曲や、戦いや宴など行動を表現した作品を配し、高学年や中学生においてはより深く作品に入り込めるような興味深い解説を施すことにより、想像力を刺激するプログラムとなり、全学年に音楽鑑賞の楽しさを伝えることができると考えている。</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ】
<p>演目選択理由</p>	<p>オープニングにはL.バーンスタインのキャンディード序曲を選びました。自由な想像を促すべく、事前の解説なく演奏するため、インパクトのある序曲でスタートします。当団では頻繁に演奏しており、CDにも収録されている得意中の得意ともいえる序曲で、まずは子どもたちの目と耳を釘付けにします。</p> <p>2曲目は語り付によるC.サン=サーンス作曲、組曲「動物の謝肉祭」です。この語りは東京藝術大学特任教授で構成作家の新井鷗子氏による「ふしぎな動物園」をもとに以下7曲を抜粋しました。 “序奏と獅子王の行進”～“めんどりとおんどり”～“ぞう”～“カンガルー”～“水族館”～“化石”～“終曲”</p> <p>語りの内容は参考音源にもアップしていますが、主人公の「ぼく」が留守番をしている間にまどろみ、夢の中で体験した「不思議な動物園」でのお話になっており、子どもから大人まで楽しめるように工夫されています。</p> <p>3曲目は一変してスリラーチックな音楽を配しました。前曲同様C.サン=サーンスが作曲した交響詩「死の舞踏」です。前段「動物の謝肉祭」「化石」のモチーフになった楽曲です。真夜中の墓場に現れた死神がヴァイオリンを奏でると多数の骸骨が音楽に合わせて奇妙なダンスを踊り出し、明け方ニワトリの鳴き声を合図に墓場に戻っていくという奇抜なストーリーは、怖いながらも子どもたちの想像力をかき立てると思い選曲しました。吹奏楽ではヴァイオリンはありませんが、アレンジによりサクソフォンがその重要な役割を担います。</p> <p>前半最後はイギリスの作曲家P.スパークが作曲したオリент急行です。この曲は元々ブラスバンドのために作られましたが、その後吹奏楽の編成にアレンジされたことにより日本で人気曲になりました。作曲者のスパークを当団はこれまでに2度招聘し、本人のタクトにより公演を行っています。曲はヨーロッパの主要都市を颯爽と駆け抜けるオリент急行を描写した楽曲で、列車の出発から到着までを表現しており、車掌が吹くホイッスルや窓外に流れる景色、力強く急勾配を登る様子などが見事に表現されており、イメージが膨らむ楽曲です。</p> <p>休憩を挟み後半はA.ハチャトリアン作曲のバレエ音楽「ガイヌ」より“剣の舞”からスタートします。クルド人が剣を振り回しながら戦いの踊りを踊る様子を表現しているといわれるこの楽曲は、過去の当事業の別企画でも取り上げていますが、いずれでも大変反応がよく、中でも低学年から「もっさんのひとのえんそうがすごい！」とか「はくりょくがあつてすごい！」などたくさんの感想が寄せられていることを受け、選曲しました。</p> <p>ここで指揮者体験コーナーを配します。ブラームス作曲ハンガリー舞曲第5番を児童・生徒2～3名に体験してもらいます。途中でテンポが変わる曲ですが、指揮者が事前に指導し、手本を示した後に挑戦してもらいます。指揮者の後ろ姿を見るだけでなく、体験することにより、オーケストラの臨場感を体感してもらいます。</p> <p>次は共演コーナーです。ビート感が強いラテン音楽マンボのビートを選びました。ワークショップで練習したツェ・スリーのリズムを組み込んだボディパーカッションのパフォーマンスを打楽器奏者のリードにより2グループに分かれて交互に演奏しながら、オーケストラと共演します。</p> <p>最後の曲として選んだのはサン=サーンスの歌劇「サムソンとデリラ」より“バッカナール”です。パレスチナが舞台のこのオペラはペリシテ人とヘブライ人の争いを描いた愛憎渦巻く内容で、全体のストーリーについては子どもたちにとっては到底理解不能ですが、第3幕の第2場で演奏されるバッカナールは、エキゾチックな旋律が印象的で子どもたちの想像力を刺激することまちがいのない楽曲と思い選びました。あえて子どもたちの視線で大人たちが繰り広げる宴の様子を自由に発想しながらオリエンタリズムにあふれるこの曲を楽しんでもらえればと思います。オペラではこの曲のあとに、宴が行われた神殿が崩壊し、ドタバタで幕を閉じますが、そこは伏せて演奏のみ楽しんでいただこうと思います。</p> <p>アンコールとして用意したのはマーチ王ともいわれるスーザが作曲した星条旗よ永遠なれ、もしくは全国の吹奏楽部で人気ナンバーワンといえる、和泉宏隆作曲、Tスクエアのヒットナンバー、宝島を用意しました。どちらの曲も手拍子で参加可能なので、最後の盛り上がりには最適の2曲です。また、どちらの曲も吹奏楽部や金管バンドと共演が可能です。</p>	